

I. 線形代数と有名不等式

i. 三角不等式

三角不等式

$x, y \in \mathbb{R}^n$ に対し、次の不等式が成り立つ。

1. $\|x\| - \|y\| \leq \|x + y\| \leq \|x\| + \|y\|$
2. $\|x - y\| \geq \|\|x\| - \|y\|\|$

三角不等式を利用した問題を数問解いてみよう。

問題

次の2つの式を満たす平面ベクトル $x = (x, y)$ を考える。

$$|x + 2y| = 1$$

$$|2x + y| = 1$$

このとき、 $|x - 3y|$ の最大値と最小値を求めよ。

問題

関数 $f(t) = \sqrt{t^2 + 1} + \sqrt{t^2 - 2t + 1}$ ($0 \leq t \leq 1$) が最小値をとる t の値を求めよ。

問題

関数 $g(t) = \sqrt{t^2 + 1}\sqrt{t^2 - 2t + 2}$ ($t > 1$) の最大値とそのときの t の値を求めよ。

ii. コーシー・シュワルツの不等式

コーシー・シュワルツの不等式

$x, y \in \mathbb{R}^n$ に対し、次の不等式が成り立つ。

$$|x \cdot y| \leq \|x\| \|y\|$$

コーシー・シュワルツの不等式を利用した問題を数問解いてみよう。

問題

$x, y, z > 0$, $x + y + z = 1$ のとき、以下に答えよ。

1. $x^2 + y^2 + z^2$ の最小値
2. $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z}$ の最小値